

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例 使用 措置	感染症(P) 病	出典	概要
											異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	J Gen Virol 2007; 88: 2890-2898	PMCA(Protein misfolding cyclic amplification)法を用いて Sc237感染ハムスターにおけるPrPScの尿中排泄及び血 中レベルの時間経過試験を行ったところ、疾患末期に高 率のPrPSc排泄を認めた。経口投与後、PrPScは全ての バフィーコート検体中に存在し、症状出現期のハムスター の血しょう検体の大部分に存在した。尿中には経口投与 後数日間はPrPScが排泄されたが、それ以降末期まで検 出されなかった。TSE感染動物の尿中でPrPScが生化学 的に検出された初めての報告である。
932	2008/02/27	70932	シェリン グ・ブラウ	インターフェロナルファ-2b(遺伝子組 換え)	人血清アル ブミン	人血液	米国	添加物	有	無	マラリア	CDC/MMWR 56(SS06); 23-38 2007年6月8日	米国CDCは2005年に死亡例7例を含む1528例のマラリア の発症を確認した。2004年より15.4%の増加である。米国 国内で感染した2例は先天性感染であり、両例とも三日熱 マラリア感染であった。死亡例は全て熱帯熱マラリアで あった。
											C型肝炎	Vox Sanguinis 2007; 92: 297-301	反復ドナーがHCV陽性を示したため、過去の供血液を 調査したところ、同ドナーの濃縮赤血球を輸血されたレン ビエントにおいてHCVが検出された。分子学的解析により 輸血によるHCV感染と確定された。ドイツでNATスクリー ニング導入後の濃縮赤血球による初めてのHCV感染例 である。HCVの感染伝播は個別献血液検体のNATを實 施しても発生する可能性がある。
											マラリア	ProMED- mail20070716.2287	2007年7月16日、インドGoa州の保健当局は熱帯マラリア の増加に対し懸念を表明した。同州では2007年1-6月の 間に熱帯マラリア症例が約788例報告された。2006年は 240例であった。同州の2007年1-6月のマラリア症例は、 2006年の症例数が1552例であったのに対し、およそ 2883例であった。
											デング熱	ProMED- mail20070722.2350	ホンジュラスにおいて、今年(2007年)になってから、デ ング出血熱により少なくとも6例が死亡し、397例が発生して いる。2007年7月14日までに保健当局はデング出血熱297 例、死亡例5例を確定し、古典的デング熱感染は6038例 であった。2006年通年のデング出血熱による死亡例は6 例、症例数は72例、古典的デング熱は7800例であった。
											細菌感染	Public Health Agency of Canada/Infectious Diseases News Brief 2007年7月27 日	英国において2007年上半期のライム病確定症例数は198 例であり、2006年同時期の194例と類似していた。2006年 通年の暫定的な総報告数は768例で、1997年にサーベイ ランスが導入されて以来、3500例以上の確定例が報告さ れている。英国人10万人当たりの年次発生率は1997- 2000年は0.38人、2002年は0.64人、2006年は1.46人と増 加している。